



2026年 7 月31日

各 位

会 社 名 株式会社オープンアップグループ
代表者名 代表取締役会長兼CEO 西田 穰
(コード：2154 東証プライム)
問合せ先 取 締 役CFO 佐藤 博
電話番号 0 3 - 3 5 3 9 - 1 3 3 0

代表取締役の異動及び社長交代に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、代表取締役の異動及び社長交代について決議・内定いたしましたので、お知らせいたします。なお、代表取締役の異動に関しましては、2026 年 9 月 25 日開催予定の第 22 期定時株主総会における取締役選任議案の承認を経て、その後の取締役会において正式に決定される予定です。なお、代表取締役に就任予定の早田麻子は、2026 年 8 月 1 日付で特別顧問として招聘いたします。

記

1. 代表取締役の異動の概要

(1) 異動の概要

氏名	新役職	現役職
西田 穰	代表取締役会長	代表取締役会長兼社長 CEO
早田 麻子	代表取締役社長	—

(2) 異動予定日

2026 年 9 月 25 日

2. 異動の理由

当社グループは、パーパス「幸せな仕事を通じて、ひとりひとりの可能性をひらく」を経営の根幹に据え、人的資本基盤、人材育成力、顧客基盤および現場との接点を強みに、「伴走型ビジネスモデル」への進化を進めてまいりました。

一方、当社グループを取り巻く人材サービス事業の環境は、生成 AI の進展、技術人材ニーズの高度化、人口減少に伴う労働力制約など大きく、且つ急速に変化しております。こうした変化とスピードに対応し、2028 年 6 月期をゴールにした当社グループの目指す姿※1 の達成と中長期的な企業価値向上を実現するためには、採用・育成・配置・定着支援を一体的に高度化し、当社グループで働く一人ひとりの可能性と市場価値を高めながら、技術人材不足という社会課題への対応と、顧客価値・収益性・企業価値の向上を両立させる経営が重要と考えております。当社グループは、既存事業の収益性向上に加え、伴走モデルのさらなる進化、人的資本投資の実効性向上、採用競争力および顧客認知の向上に資するブランディング強化、生産性向上に取り組んでおり、これらをより一体的に推進する体制づくりを進めております。

早田麻子氏は、フィロソフィーを経営の軸に据え、人の成長を事業成果へつなげる経営を重視しながら、現場に根差した事業運営、組織・人材変革、人的資本領域、テクノロジーを活用した事業成長に取り組んできた実績を有しております。経営構想を組織・人材の変革およびテクノロジーの実装と結びつけ、現場における行動変容と顧客価値・事業成果の創出を実現してきた点は、当社グループが目指す伴走モデルの進化と高い親和性を有するものと判断しております。

当社グループは、同氏の経験が、現経営陣がこれまで推進してきた中期経営方針、人的資本への取り組み、伴走モデル、処遇改善、ブランディング強化および収益性改善に向けた施策を継承しつつ、次の成長フェーズに向けてより具体化・加速するうえで重要であると判断し、同氏を取締役候補者として招聘することを決定いたしました。

同氏は2026年8月1日より特別顧問として当社グループに参画し、当社の事業、組織、人材、顧客基盤および経営課題への理解を深めるとともに、現経営陣と連携し、次期経営体制への円滑な移行に向けた準備を進める予定です。

※1「オープンアップグループが目指す姿」：2025年6月期決算説明資料に記載

https://ssl4.eir-parts.net/doc/2154/ir_material_for_fiscal_ym26/184882/00.pdf

3. 新任代表取締役社長の略歴

氏名 (生年月日)	略歴	所有 株式数
早田 麻子 (1971年12月2日)	1994年4月 山一証券株式会社 入社 1996年1月 京セラコミュニケーションシステム株式会社 入社 2013年1月 日本マイクロソフト株式会社 本部長 2016年10月 日本ビジネスシステムズ株式会社 執行役員 2018年3月 アクセンチュア株式会社 マネジング・ディレクター 2021年4月 早稲田大学総合研究機構トランスナショナル HRM 研究所 招聘研究員（現任）	0株

4. 就任等の予定

(1) 西田 穰

代表取締役会長 2026年9月25日 就任予定

(2) 早田 麻子

特別顧問 2026年8月1日

代表取締役社長 2026年9月25日に開催予定の定時株主総会での承認を経て取締役
 就任し、同総会終了後に開催予定の取締役会において代表取締役社長
 として選出される予定

以上